

西江通信

CONTENTS

- 1-2 現場だより「幾春別川総合開発事業の内
菊面沢地区付替林道外工事」
- 3 特集「流域治水オフィシャルサポーター」
- 4 Eco Action!
- 5 就活情報
- 6 PLUS NEWS

秋号

R5.9.29
- 第17号 -



紙面を通じて西江建設とあなたを繋ぐ広報誌。西江の仕事・想い・働く私たちの情報をお届けします



令和5年7月16日(日)に開催された「第51回十勝川イカダ下り」での1枚。治水100年を迎えた十勝川を特製「にっくん号」で満喫！(撮影：石澤)

現場だより

幾春別川総合開発事業の内 菊面沢地区付替林道外工事

現場職員



- ☑ 施工場所：三笠市
- ☑ 施工期間：令和5年4月22日～
令和5年12月28日
- ☑ 発注者：北海道開発局札幌開発建設部
- ☑ 請負者：西江建設株式会社
- ☑ 請負金額：504,779,000円
- ☑ 進捗率：50% (9月末時点)

memo

幾春別川総合開発事業は、「新桂沢ダム」と「三笠ぼんべつダム」を建設する事業です。2つのダムの整備を通じて、流域の安全を守るとともに、広い地域に水を供給することで豊かな明日を築いていきます。



菊面沢橋 施工中の様子 (施工箇所：上流工区)

工事概要

memo

幾春別川総合開発事業では、昭和32年に完成した高さ63.6mの桂沢ダムを11.9m高^{かさ}上げる「新桂沢ダム」と、幾春別川支流の奔別川^{ほんべつ}に「三笠ぼんべつダム」を新たに建設します。

新桂沢ダムは、高さ^{たかさ}を1.2倍にすることで湛水面積が1.3倍となり、治水対策や河川環境の向上、水道、工業用水やCO2を発生させない水力発電に使える容量を1.7倍に増加させます。

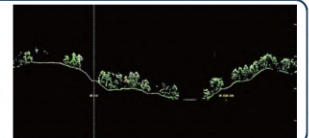
そのうち本工事は、新桂沢ダムに水を貯めたときに水没する範囲の道路や橋などを、貯水の影響を受けない高い標高のところに作り替える工事と地すべり対策の工事を担っています。

工事箇所は、付替林道が6箇所、斜面对策工が3箇所（護岸工-1箇所と集水井工-2箇所）、橋台工・橋梁架設工が1箇所、地滑り計測器設置工8箇所と広範囲・多工種にわたっています。この工事を行うことで、ダム嵩^{かさ}上げ後も林道を通常に走行することが可能となります。

本工事では、さまざまな工種を多くの場所で行っていますが、各工区の施工順序を決め、11月上旬から始まる試験湛水（水を貯めて、ダムの機能や周辺斜面の状況を確認する試験）開始までの約半年間で無事に工事を完成することを最優先に考えています。

建設DXの取り組み

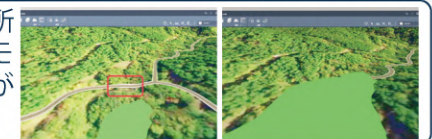
UAVレーザー※1を使用して起工測量を実施。通常の光波測距儀を使用した起工測量では20日間必要なところ、4日間で完了。林道は急斜面も多いので、UAVレーザーを使うことにより安全に測量ができた。



2次元図面から3次元設計データを作成し、3次元測量から生成した点群データと重ね合わせることで設計土量を確定させた。3次元データはICTバックホウの制御にも活用している。



桂沢ダムの水位上昇により旧道が水没し工事箇所^{しゅうすいせい}に到達できなくなる可能性があった為、広域3Dモデルを用いて浸水シミュレーションを実施。水没が想定される箇所を先行して施工する計画を立てた。



桂沢ダム周辺は、携帯電話不感地帯となっており工事箇所の通信方法確保が課題であった為「StarLink」※2による衛星通信サービスを導入。工事箇所からのインターネット通信（通話）を可能にした。



※1 無人航空機搭載型レーザースキャナー

※2 スペースX社（イーロン・マスク氏が設立）が提供する衛星インターネットサービス

01 今回の現場において 大変に感じることはありますか？

試験湛水までに必要な工事を完了させなければならない条件と、掘削後に緩み崩れやすい地質、主要工種に附帯する作業も多いなどの特性上、現地を一つ一つ確認して実施することが多いため、数量の算出・施工の段取り・工程の見直しに苦労しました。

また、この地域は雨が多く、雪が降るのも早いです。施工箇所に行くまでの林道も狭く、効率よく工事を進めるのがとても難しい現場です。追加工事の中には11月までに終えなければいけない箇所もあり、時間もシビアな中で作業を進める必要があります。

この現場には6名の職員が配置されており、役割をしっかりと分担し作業しています。各自が責任感をもって自分の仕事をこなし協力することで、これまで着実に工事を進めてこられました。バランスよく役割を分担することで、1人当たりの負担を減らせるというメリットもあります。

02 今回の現場で、大人数を まとめる際に心掛けていることは ありますか？

多い時だと60名近くの方が現場に入場するのですが、その時はさすがに「ここは建築現場か？」と錯覚しそうになりました…。客土の現場などでは、たくさんダンプが出入りする場合に大人数になることもありますが、今回の現場のようにこれだけ多くの工種がある中での大人数は初めての経験です。

しかし、各工事箇所を巡視する際にできるだけ声掛けを行うこと、各担当の職員と報・連・相をしっかり行うことで、全体の動きを把握しています。

03 今回の現場で一番やりがいを感じるの はどんな時ですか？

この現場は広範囲に11の工区が点在しており、数えきれないくらいの工種を進めていかなければなりません。他の現場では経験したことがないような状況ですが、職員や業者さんたちと協力しながらやりくりして、日々着実に工事が進んでいくのには、とてもやりがいを感じられます。

04 これまでで印象に 残っている工事はありますか？

平成28年の台風災害による災害復旧工事に携わったことが特に印象深いです。極めて緊急性の高い現場で、「どんな重機が何台必要か、人数は何名配置するか、どう施工するか」を現場を見て判断し施工できるような体制を整えたら次の現場…というのをひと月で4~5箇所ほどまわったと記憶しています。

崩壊している道路や増水している河川のすぐ傍で現場を見た時は、やはり恐怖を感じました。しかし、「自分たちがやっているこの仕事が、この地域と住んでいる人々の安全を守っているんだ」という強い使命感があったので、乗り越えられました。それがこの仕事の誇りでもあります。



過去の災害復旧工事の記録はこちらから

CHECK



過去の工事実績の一覧はこちらから

05 建設業について知ってほしいこと

建設業は社会にとって必要不可欠な存在です。なぜなら、これまで公共土木工事によってつくられた道路や橋、トンネル、高速道路など様々な構造物は、今現在も多くの人に利用され、暮らしや経済活動を支えているからです。

しかし、私たちのような施工管理を行う会社も含め人手不足が業界の大きな問題でもあります。働く私たちの力で、働き方改革やICT化を進め、生産性を向上してより魅力ある仕事にしていきたいと思っています。

PHOTO DATE



上流工区・菊面沢橋

(↑) 着工前の様子
(→) 完成した橋台脚



右岸工区・No.2付替林道

(↑) 着工前の様子
(→) 完成した補強土壁



現場代理人's DATE



氏名

林 睦寛
HAYASHI NOBUHIRO

入社年月日

平成9年

所属

工事部 工事課 工事長

出身校

北海学園大学
工学部 土木工学科
(現：社会環境工学科)

趣味

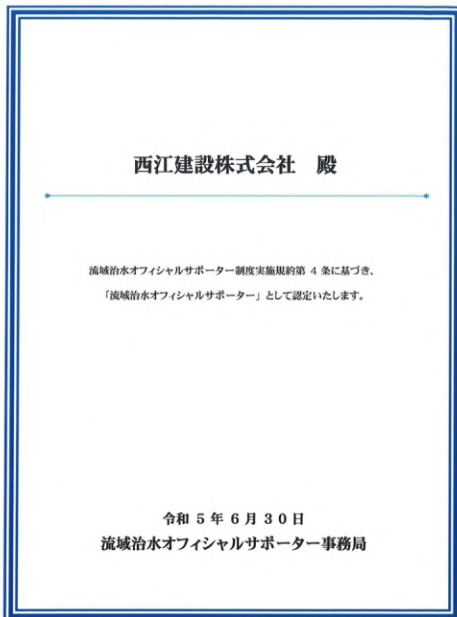
山岳入キ一
登山、釣り

特集「流域治水オフィシャルサポーター」

この度、当社は国土交通省より全国で6番目の「流域治水オフィシャルサポーター」として認定されました。

「流域治水オフィシャルサポーター」とは、令和5年3月に国土交通省が創設した制度で、流域治水の推進に取り組む企業などをオフィシャルサポーターとして認定するものです。令和5年6月30日（金）時点では、全国で62企業・団体が認定を受けています。

当社は認定を受けた企業として、「当社の7つの取り組み」に記載している内容をしっかり取り組んでいくと共に、新たに組み入れる事項を検討しながら積極的に活動を展開して参ります。



オフィシャルサポーター認定証

激甚化・頻発化する水害から国民の生命と暮らしを守るための新たな水災害対策である、流域全体で治水対策に取り組む「流域治水」においては、河川の流域に住む全ての人の意識の変化や参加が必要です。

私たち西江建設は、地域に住んでいるより多くの人たちに向けて、水害での被害を最小限にするため「できることから参加しよう！」と呼びかけ、行動に移してもらうための取り組みをしていきたいと考えています。

流域治水



当社の7つの取り組み

01 当社ホームページによる啓発

流域治水オフィシャルサポーターとしての活動内容や、流域のあらゆる関係者で水災害対策を推進する流域治水の考え方などを当社ホームページに掲載。国土交通省流域治水の推進ページへリンクを設定。

02 社屋周辺でのぼり旗による啓発

水防月間、河川愛護月間や土砂災害防止月間などの期間に当社社屋周辺や施工現場事務所に「みんなで取り組もう流域治水」(案)ののぼり旗を掲揚し、市民へ啓発。

03 イベント開催時ののぼり旗による啓発

当社が実施する市民参加の十勝川河川清掃、協力して実施する「いかに下り」などのイベント開催時に、集合場所に②ののぼり旗を掲揚し、市民へ啓発。

04 名刺交換で啓発、及び社員への教育

当社の名刺に「流域治水オフィシャルサポーター」、流域治水ロゴマークまたは、「みんなで取り組もう流域治水」(案)を掲載し、商工会議所活動他の地域各種活動で流域治水を啓発。社員には「流域治水」について説明会を開催し、概念や市民をはじめ各主体が取り組める内容を周知し、名刺に掲載している趣旨が説明できるよう教育。

05 災害時の一時避難場所の提供

浸水等の災害時には、町内会住民に自家用発電機や太陽光発電による電源でスマホ充電場所を開放するほか、一時避難場所を開設。「一時避難場所」ののぼり旗を掲揚。これらの対応を含む当社 BCP 対応訓練において社員に周知。



一時避難場所・充電場所の案内表示

06 災害協定に基づく活動

北海道開発局帯広開発建設部、北海道十勝総合振興局、帯広市等との災害協定（建設業協会の協定を含む）に基づく洪水時の施設点検、緊急対応の実施。

07 インターンシップ等の機会をとらえた若者への啓蒙

インターンシップの学生（5名程度）及び企業説明会で流域治水サポーターの取組を啓蒙。



インターンシップに参加した学生向けの説明会



社内説明会の実施（右：YouTubeでも限定配信）

Eco Action

EV 用急速充電器を新設

当社は、日頃からカーボンニュートラルの実現に向けた様々な取り組みを行っています。その取り組みの一環として、新たに本社にEV(電気自動車)の急速充電器を設置し、7月19日(水)から運用を開始しました。

7月24日(月)には、北海道新聞社、十勝毎日新聞社、北海道通信社、北海道建設新聞社に対して記者発表を行い、当社の環境保護に対する取り組みと急速充電器の導入について説明しました。

急速充電器は、出力90kW、2口の仕様で、同時に2台が利用可能です。今年度導入したEV(日産「リーフ」とスバル「ソルテラ」)が、それぞれ1時間程度で充電できます。上記の2台は現在、営業車・役員車として運用していますが、災害時には非常用電源として活用することも検討しております。今後も積極的にEVの導入を進めていく予定です。

当社では、社宅のオール電化導入や、社宅・本社屋上に太陽光パネルの設置など昭和60年から環境保護を意識した様々な取り組みを続けてきました。平成30年以降、ハイブリッド車、プラグインハイブリッド車を積極的に導入しており、工事現場においてもソーラーシステムを導入するなど全社を挙げてゼロカーボンに取り組んでおります。

今後も将来を見据えながら環境に配慮した取り組みを続けて参ります。



当社で導入している車両



NPO 法人十勝多自然ネットの活動

当社社長が理事長を務める NPO 法人十勝多自然ネットは、市内の小河川において環境学習観察会を開催しました。

参加した児童たちは、ドジョウやウチダザリガニ、ミナミヌマエビなどの水生生物をタモ網を使って上手に捕獲していました。

捕獲したあとは、小さな水槽に移し熱心に観察を行いました。ガイド役の職員は、「なぜこの川に生息しているのか」「特定外来生物とは」「この生物がいることでどんな悪い影響があるか」「川遊びの心得」などを説明。身近な生き物と触れ合いながら、水や自然と共存していくことの大切さを学びました。

東小学校



日 程：7月5日(水)
参加者：3年生40名
場 所：発祥の地公園

あじさい保育園



日 程：7月21日(金)
参加者：年長組50名
場 所：札内川

豊成小学校



日 程：8月21日(月)
参加者：3年生120名
場 所：機関庫の川

啓北小学校



日 程：9月7日(木)
参加者：4年生52名
場 所：伏古別川
水辺の楽校

就活情報

夏期インターンシップ&職場体験

8月下旬から9月上旬にかけて、夏期インターンシップおよび職場体験（高校生向け）を開催し、北海道科学大学（3年生）1名、札幌工科専門学校（2年生）1名、帯広工業高等学校（2年生）1名、計3名の学生さんが参加してくれました。

まだまだ暑い中での実習となりましたが、たくさんの知識を吸収しようと最終日まで一生懸命に取り組んでいました。3Dレーザースキャナーやドローン操縦の体験、MCバックホウでの施工など、当社が取り組んでいるi-Constructionについて説明しながら、ICT化が進む現場を体験してもらいました。

参加した学生さんは、「建設業は力仕事が多いイメージだったが、想像していた現場とは違い機械を多く使っていて、良い印象が変わった」「実際に現場を体感してみて自分に向いている仕事だと改めて思った」と話してくれました。

今回の経験が、これからの学生生活や就職活動に役立つことを願っています。皆さんと一緒に働ける日が来ることを、職員一同、楽しみに待っています！



「大変なこともあるけど、それ以上にやりがいがあって楽しい仕事だ」と話していた職員の方の表情がとても生き生きとしていて、深く印象に残っています。

（北海道科学大学 / 3年生）



現場の仕事は、日中ずっと働いているようなイメージがあったのですが、実際はこまめに休憩を取っていて働きやすい環境であることがわかりました！

（札幌工科専門学校 / 2年生）



先輩から西江建設のこと聞いて興味を持ったのがきっかけで、今回の職場体験に参加しました。各現場ごとに様々な工法があり、それについて細かくわかりやすく説明してもらったことが印象に残っています。

（帯広工業高等学校 / 2年生）

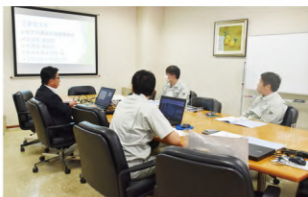


当社では、
夏期インターンシップ・職場見学会以外にも
現場見学会や応募前の会社訪問も
随時、受付けています。
ぜひお気軽にお問い合わせください！

夏期インターンシップ

《見学現場》

- ・新屈足地区農道改良工事・帯広広尾道 芽室町 土狩大橋耐震補強工事
- ・鹿追町ボンサラウンナイ林道改良工事・大正北2地区客土外工事



初日はガイダンスから始まります



3Dレーザースキャナーの操作を体験

《配属現場》

- ・新屈足地区農道改良工事



現場代理人の説明に熱心に耳を傾ける2人



間近でみる重機に興味津々の様子



測量実習も熱心に取り組んでいます



記念の1枚！いい笑顔です！

職場体験

《見学現場》

- ・新屈足地区農道改良工事・帯広広尾道 芽室町 土狩大橋耐震補強工事
- ・鹿追町ボンサラウンナイ林道改良工事・中札内地区外水防拠点工事



3Dレーザースキャナーの操作を体験



施工中の現場で丁張設置の体験



緊張した様子でドローン操縦を体験



音波で橋脚内部の鉄筋の位置を確認する鉄筋探査を体験



北海道通信社さんの取材も笑顔で対応してくれました



記念の1枚！3日間満ちました！

PLUS NEWS

消防訓練を実施

7月5日(水)、本社において消防訓練を実施しました。この訓練は、緊急時の対応を学び職員の安全意識を向上させることを目的として毎年1回行っています。

今年度は「ボイラー室からの出火を想定した屋外への避難訓練」「水消火器を用いた消火訓練」「119番への通報訓練」を実施し、帯広消防署職員の方より「応急手当の基本」「ラップを用いた止血法」「簡易担架の作り方」をご指導いただきました。



水消火器を用いた初期消火の訓練



ラップを用いた止血法の練習



2種類の担架の作り方を実践

おびひろ e-防災



CHECK
帯広市のウェブサイトでは
心肺蘇生法や包帯止血法など各種応急
手当の方法が紹介されています！

十勝川イカダ下りに参加

7月16日(日)、第51回十勝川イカダ下りが開催されました。当社からは実行委員である経理課兼業務課 谷本課長を筆頭に、34名の職員が運営スタッフとして参加しました。

今年は4年ぶりの開催で、さらに十勝川治水100年記念の年というこもとあり大盛況のイベントとなりました。出艇したイカダは50艇、参加者は245名。中には東京や茨城から参加された方もいたようです。

当社の職員は、前日から貸しイカダの製作や会場設営、受付業務、出艇・ゴール時のイカダ引上げ、陸・水上監視など様々な役割で参加しました。もちろん当社からも特製「につくん号」が出艇！副社長+若手5名の乗組員たちは川を泳いだりして、イカダ下りを大満喫したようです。



イカダ下りを楽しむ職員たち



出艇のお手伝いも頑張りました



イベント後のBBQは最高です



カヌーが趣味の宮島副社長！

西江建設、創業70周年。西江通信、創刊3周年


当社は、9月5日(火)に創業から70年を迎えました。
この節目に、地域の皆様、そして協力会社の皆様に
職員一同、心より感謝申し上げます。

70年という長い月日の間、皆様に支えられながら、
十勝、北海道の発展に貢献できたことを誇りに思います。

当社は、これからも常に技術の向上を目指し
地域に必要なとされ、地域に貢献する会社として努力し続けてまいります。



平成2年12月、西江建設で初めての社報が誕生しました。それから長い年月を経て、令和の幕開けと共に名を「西江通信」として新たに生まれ変わった本紙も、今号で3周年を迎えます。会社と社報、どちらも区切りのタイミングを迎えた今号から、西江通信はデザインをリニューアルしました！

紺色を基調に社章の赤色をアクセントカラーとして用い、西江建設のテーマカラーを全面的に取り入れました。見出し等のあしらいは、社章「」をモチーフにして、全体的に角を丸くしたデザインにしています。

これからも、発刊当初の「西江建設と、社報を読んでいただいている皆様とが信頼を深め合い、親しみを感じてもらいたい」という初心を忘れず、西江通信を発行して参ります。今後とも、どうぞよろしくお願いたします！

- 10月 9日(月) 「スポーツの日」のため休業
- 11月 3日(金) 「文化の日」のため休業
- 11月 23日(木) 「勤労感謝の日」のため休業
- 12月 28日(木) 西江通信「冬号」発行予定&仕事納め
- 12月 29日(金) 年末年始休暇
- 1月 4日(木)



Instagram

YouTube

WebSite



 西江建設株式会社 〒080-0034 帯広市西4条北2丁目20番地
TEL:0155-25-9105 MAIL:info@nishie-co.jp

